住民たち、いも煮会で交流親睦

西鎌倉自治会の統合記念行事

大ナベ一杯のいも煮。新さといもや牛肉、ネギ、ゴボウなど野菜もたくさん。西鎌倉山北公園で10月5日いも煮会が行われ、住民たち約3百人が参加、秋の一日を楽しんだ＝写真。

西鎌倉自治会は26年前に2つに分裂し、以来、地域の交流は途絶え、不便なことが続いた。「これではいかん」と5年前、自主防犯を考える会の発足とともに町内の融合を図る目的で、西鎌倉山親寿会（佐々木俊文会長）という老人クラブを結成した。

33人が友好親睦、地域社会の貢献などを目的に街路樹の整備、公園の清掃、防犯パトロール、健康講座などの活動を積み重ねた。秋のいも煮会もそのひとつで4回目。こうした熟年会の努力で昨年、分裂の2つの自治会が合併、西鎌倉山自治会（安楽光弘会長）を設立、08年4月、発足した。

自治会統合記念のいも煮会は同自治会、親寿会が主催。さといも70㌔、牛肉30㌔のほか野菜を用意、百人分の大ナベで煮込んだ。「おいしい」と舌鼓。

中央の広場では手広中学生のブラバン、ワイルドローズのメキシコ衣装のフォークダンス、マハナ・フラ・ハラウの人たちのフラダンスなどが繰り広げられた。腰越消防署の防災訓練などもあった。笑顔のこぼれそうな一日だった。

全国老連から「活動賞」受賞の鎌倉市老連会長

大久保（おおくぼ）　安夫（やすお）さん

「豊かな創造性とたゆまぬ努力により、標記活動部門において、顕著な成果をあげられ…」こんな文の書かれた表彰状。

鎌倉市老人クラブ連合会が、全国老人クラブ連合会から08年の「仲間づくり活動部門」の活動賞を受賞した。

「いやあ、うれしいね。鎌倉のお年寄りのひとり一人が元気を出して、活発に活動していることが理解され、認められた証しですから、こんな喜ばしいことはない」

60歳くらい以上の人たちで構成している老人クラブは、全国に12万4千余、会員は約780万人。この全国老人クラブ連合会が、08年度から制定したのが「活動賞」。

各クラブの活動分野に焦点をあて、他の参考になるような先進的な活動をしている単位クラブや市区町村老連などを対象に選考した。

市区町村老連の受賞団体は全国で36。県内では鎌倉市老連だけが選ばれた。11月中旬、長崎市での全老連の大会で表彰される。

鎌倉市老連は各クラブの横の連携を強めるため64年9月に結成され、現在、市内の81のクラブ、3，887人が加入。「ゆめクラブ鎌倉」の愛称だったが、「ゆめ」と名のつくクラブ、老連が各地にあり「これではありきたりで夢がなさすぎる」と「みらいふる鎌倉」と変えた。

07年を変革の年と定めて愛称を募集し、11月に決めた。いきいき活動し明るい未来の光が降り注ぐ、意味があるという。

「この愛称が決まったことで、気持ちの切り替えができた。歌もでき、シンボルマークの入ったジャンパーも作った。そろいのジャンパーで、会の歌で声をあげれば思いがひとつになる。仲間意識を築きあげ、活動の原点となっていく」

市老連の年間スケジュールは多い月で7、8件あり、年に35件前後になる。機関紙の発行、ハイキング、スポーツ大会、健康づくりや料理、趣味の教室など幅広い。

07年6月からケーブルテレビで各老人クラブの活動ぶりを毎日5分間放映。他市クラブとの交流もあり、会長職は多忙である。

「団塊の世代も、交流の場として活動してほしい。楽しく参画することで健康にもなり、生き方も変わっていくのではないか」

兵役、松竹大船撮影所のロケーションマネジャーなど、豊かな人生経験はくよくよしない哲学を開花させたようで、まとめ役に最適の声も。住んでいる大船地区の世話役の会長職もいくつか。83歳。（事務局は鎌倉市役所内☎23・3000）＝N

金木犀の香に包まれ二日間公演

50回の鎌倉薪能、幽玄の世界

ンモクセイの香に包まれ、小鼓や笛、謡の調べが静まり返った会場に響く。かがり火の煙が木立に消えていく。

鎌倉市観光協会主催の第50回記念・鎌倉薪能は10月8、9の両日、心配された天気も持ちこたえ、二日間無事に終わった＝写真。

素謡「翁」、増兵を意味する衆徒法螺などの儀式のあと能「羽衣」狂言「地蔵舞」能「土蜘蛛」が上演された。金春流・金春安明家元ら観世、金剛、大蔵流、囃方を含め、宗家クラスが出演した。

「羽衣説話」に由来した春景色をめでながら天人の舞楽を見せて天上に帰っていく羽衣。武勇で有名な源頼光の怪物退治を舞台化した「土蜘蛛」はいずれも人気の演目。

土蜘蛛の和紙を細く切ってつなげたクモの糸を、次々投げつける場面では感嘆の声がもれたほど楽しませた。節目の50回薪能が二日間無事に終え、観光協会の幹部たちはほっとした表情だった。

勇壮な和太鼓の響きと祭り囃し

極楽寺・稲村ガ崎フェスティバル

身体を揺さぶるような勇壮な和太鼓の響き、どこか郷愁を帯びた祭り囃し。この二つのイベントが10月5日、稲村ケ崎小体育館で行われた＝写真。

和太鼓の演奏を披露したのは「和太鼓グループ彩」のメンバー8人。横浜の桐蔭学園高校OBの人たちでいずれも現役の大学生。リーダーの葛西啓之さんは東大4年生。和太鼓が好きで高校生のときからこの仲間たちと稽古に打ち込んだ。

大学受験などで中断したが、稽古を再開した。再を彩の名称にして大学の学園祭で演奏した。東大の5月祭、駒場祭などでここ2年連続でグランプリ1位になるなど、活躍ぶりに公演依頼も舞い込みだした。

第12回極楽寺・稲村ガ崎のアートフェスティバルのイベントの一つに招かれ、この日の演奏となった。おけど太鼓や長胴太鼓で「森羅万象」「炎」などの曲を演奏した。バチさばき、呼吸も合い迫力があった。

この前に地元の極楽寺睦囃子連の祭り囃しが披露された。平井一紀さんをリーダーに稲村ケ崎小の児童やその卒業生ら18人が出演して笛、太鼓、鉦などの郷愁の音色が会場を包んだ。

ハイ笑って！幸せの記念写真

「七五三」参りの鶴岡八幡宮

子どもの無事な成長を祝う「七五三」の宮参りは年毎に早くなっていくよう。10月19日の日曜は大安の秋晴れで鎌倉市内の神社は着飾った親子らが目立った。

鶴岡八幡宮はこの日だけで数百組の祈とう申し込みがあり、本殿の待ち合い所はおおにぎわい。初穂料5千円クラスが多かった。参拝をすませた家族連れは大石段上の楼門前で幸せの記念写真をパチリ＝写真。

何組かに聞いたところ、ほとんどが横浜住まいだった。「11月に入ると混むのと寒さが厳しくなるので早目にきた」。一式3万円払っての貸衣装は七つの女の子を引き立たせていた。

鎌倉宮は社務所で着替えの着物、記念写真、祈とう、千歳あめのセットを用意している。ふだん着で訪れ、着替えて祈とうのあと鎌倉市内を散策できると利用者が増えているという。

紫いも焼酎「古都海」発売

鎌倉酒販協組の新商品

鎌倉酒販協同組合（長嶋幸男理事長）が紫いも焼酎「古都海（ことみ）」をこの秋、新発売した＝写真。

鹿児島産の紫イモを原料に製造元は06年から発売している芋焼酎「吾妻鏡」と同じ鹿児島の萬世酒造。限定5千本、720㍉㍑1480円、鎌倉・逗子・葉山の同協組加盟店で。

古都海の名前は公募の120余人から横浜市旭区・小美濃志帆さんの応募作が選ばれた。ラベルの文字は石渡徳一鎌倉市長による。

長嶋理事長は「フルーティーな香りと柔らかな甘みをロックや水割りでお楽しみ下さい」と話す。問い合わせ同協組☎22・4556

かまくらの雰囲気で…　門
珈琲と洋菓子
小町店　小町通り中央　☎23―0503
北鎌倉駅前店　☎23―1660

迅速と、サービスと
東京陸運局認定・ニッサンサービス・J・A・F指定
㈲川島自動車整備工場
大町4―1―35（名越踏切手前）電話 0467（25）3223

お香 香炉 香道具 匂い袋 高級線香 念珠 他
鎌倉に蘇える伝統の香り　香司 鬼頭天薫堂 鎌倉
鎌倉市雪の下1-7-5 小町通り八幡宮寄り
TEL. 0467-22-1081（代）
http://www.tenkundo.co.jp/

芋川耳鼻咽喉科
耳鼻咽喉科・アレルギー科・補聴器相談
TEL　0467-24-7273
駅東口徒歩2分　小町通り　壱番館ビル3F

プロのお掃除致します
●見積もりは無料で致します。
●研修を重ねた女性スタッフがお伺い致します。
換気扇 8,000円（羽根型）～15,000円
風呂場 7,000円
ダイニング 6,000円～
ガス台廻り 6,000円
トイレ 3,000円
リビング 7,000円～
流し調理台廻り 5,000円
洗面所 5,000円
窓1カ所（2枚より）2,000円～4,000円
各窓の料金は別になります。※ご用命は、作業代金合計15,000円より承ります。
（有）アイ・ハウスクリーン
TEL 0467-24-4400 鎌倉市大町2-5-26
☎ 0120-24-0409
http://www.iclean.co.jp

明治37年創立
学校法人 鎌倉女学院
中学校・高等学校
心身ともに健康で
国際性豊かな人間教育
〒248-0014 鎌倉市由比ガ浜2丁目10番4号
電話（0467）25-2100（代表）

ゆみ中医漢方クリニック
漢方婦人科・漢方皮膚科
漢方思春期婦人科
漢方不妊治療婦人科
逗子市小坪1－18－4
TEL／0467-22-9184
http://www5e.biglobe.ne.jp/~yumicyui/
診療時間
午前：　9:00～11:30（火～土）
午後：14:00～16:30（火・木・土）
予約制・各種健保扱・自費診療有